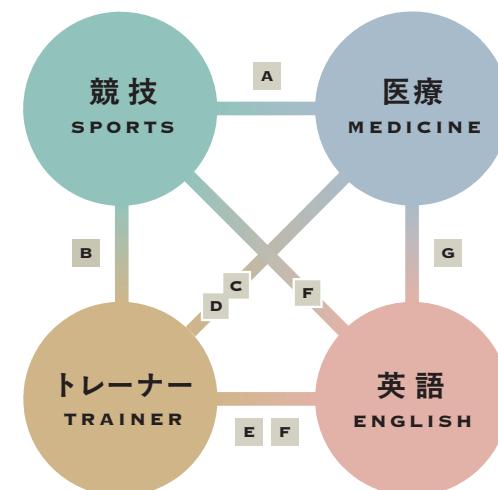


DOUBLE LEARNING

この先のスポーツ界・医療界をリードするハイレベルな人材を育成するために、「ダブル・ラーニング制度」は、学科やコースの垣根を飛び越え、複数の専門分野を自由に組み合わせて学ぶことのできる履修料独立の履修カリキュラムです。



- 4つの分野を自由に組み合わせて学ぶことで、将来の幅を広げることができます。
 - 7パターン、39通りの組み合わせの中から、希望進路にぴったりの学びを見つけてください。

- A** 競技×医療
 - B** 競技×スポーツトレーナー
 - C** 医療×アスレティックトレーナー
 - D** 医療×パーソナルトレーナー
 - E** 英語×アスレティックトレーナー
 - F** 英語×スポーツ
 - G** 英語×医療

DOUBLE LEARNING

競技×医療



カリキュラムのしくみ

1年目は、競技スポーツ学科(野球、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス)で、理論と実技の両面からスポーツを学びます。

2年目は、午前中は競技スポーツ学科で授業を受け、午後は医療系学科(柔道整復学科、鍼灸学科)の授業を受ける「二階建て」の時間割。

そして3年目以降は医療系学科の学習一本で、国家免許取得を目指します。

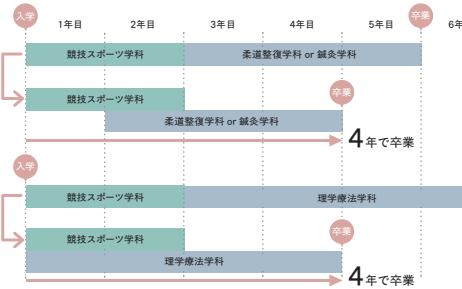
※理学療法学科選択者は、1年目から午前は競技スポーツ学科、午後(夜間)は理学療法学科で学びます。

高いレベルの競技経験を持ち、ケガに苦しむ選手たちの気持ちや身をもって知つてゐること
は医療人としての大きな強みにもなります。
かつて本校では、競技スポーツ学科を卒業し
た後、医療系学科に再入学する学生は少なくな
りませんでした。
そこで、競技と医療の学びを効率よく両立で
きるカリキュラムとして誕生したのが、「競技
×医療」です。
このカリキュラムは、特定の競技を専門的に
学びつつ、卒業時に医療国家免許が取得できる
ように構成されています。
入学後1年目と2年目の午前中は競技スポーツ
学科で実力と磨き、必要な理論を学びます。
2年目の午後と3年目以降は医療系学科で授
業を受けます。理学療法学科選択者は、1年目午
後から、他学科コース学生との交流も生まれ、
将来は「競技者」「医療者」の心身を理解し、サポートする
「体育会系医療人」として、社会で活躍できる人
材を目指します。

学びのポイント KEY POINTS

① 「1~2年早く」卒業できる。

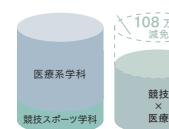
競技スポーツ学科(2年制)と医療系学科(3~4年制)の合計5~6年間のカリキュラムを、あわせて4年間で修了できます。スポーツを思う存分続けながら医療国家免許の取得を目指せるため、部活動経験者に人気の「文武両道」ルートです。



② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「競技×医療」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。

競技スポーツ学科の1年分の授業料と施設設備費をあわせた98万円にプラスして、医療系学科入学金のうち10万円を免除します。



③ 希望する医療免許は、入学後に再選択できる。

入学後に視野や関心が広がったことで、入学前に希望していたものとは異なる医療国家免許の取得を考える可能性もあります。本当に自分にマッチした進路を選べるよう、1年目には柔道整復学科、鍼灸学科の教員が、理解を深めるための基礎授業を行います。そして、医療の基礎知識をはじめ、免許ごとの特徴や違いを把握した上で、進路を選び直すことができます。

※理学療法学科については、1年目より授業が始まります。

VOICE

競技スポーツ×医療の文武両道を目指す、
“体育会系医療人”になろう。

理学療法学科

バスケットボール × 球理療法士

まるやまけいな
丸山敬大さん (大阪府立枚方津田高校出身)

理学療法士を目指し学校選びをする中で、バスケも続けられる履正社を選びました。チームメイトに「身体が痛い」と相談を受けた時、医療の知識を生かして「この筋肉が原因かも?」と簡単なアドバイスができるようになりました。夜間部は、僕と同じように競技と両立する以外に、働きながら学ぶ人など、いろんなクラスメイトがいて刺激を受けています。

VOICE

柔道整復学科

ソフトテニス × 柔道整復師

こななずかわなな
小茄子川 夏月さん (秋田県立高校出身)

小学生のときに出会った憧れのトレーナーさんのもとで選手をサポートするのが夢です。ソフトテニスコースは練習メニューも豊富で、競技に専念できる環境でした。柔道整復学科の学びは、身体の構造など覚える知識が多いですが、ケガにすぐに対応できる技術が身につきます。両立が大変な時もありますが、仲間の存在が励みになり頑張れます。

VOICE

鍼灸学科

野球 × 鍼灸師

よつじりゅうへい
四辻龍平さん (篠山鳳鳴高校出身)

高校時代、肘のケガがきっかけで鍼灸師の仕事を知り、「なぜ鍼はこんなに効果があるのだろう」と興味を持ちました。履正社は先輩が進学していたことと、経験豊富な先生方がいることが決め手でした。授業で学んだ閑節の知識が、野球の正しいフォームへの意識にもつながっています。卒業後は鍼灸院やスポーツ現場で経験を積み、いつか自分の治療院を開業したいです。

VOICE

93

92

DOUBLE LEARNING

競技 × スポーツトレーナー



このカリキュラムは、競技とスポーツトレーナー双方の知識・スキルを深く学ぶことによって、特定の競技に強いより専門的なトレーナーになることを目的としている方におすすめしています。

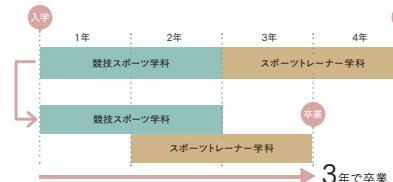
アスレティックトレーナーは、解剖学や栄養学などの標準知識に基づき、選手・健康管理やケガの予防を行います。それに加えて、その競技に特化した知識・スキルを持つことによって、本人のみならずチームにとって大きなアドバンチージとなるケースもあります。

また27歳より、パーソナルトレーナーまたはフィットネスインストラクターの学びも履修が可能になりました。一对一指導の専門家であるパーソナルトレーナーは、アスリートを顧客に持つことも珍しくなく、競技力向上に特化した筋力トレーニングを提案するため知識と技術を磨きます。集団指導の「ヨガ・ヨガヨガ・フィットネスインストラクター」、ヨガ・ヨガヨガ・ヨガヨガヨガ等、授業を立てさせることのできる環境が整っています。

学びのポイント | KEY POINTS

① 「1年早く」卒業できる。

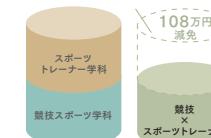
競技スポーツ学科（2年制）とスポーツトレーナー学科（2年制）の合計4年間のカリキュラムを、あわせて3年間で修了できます。競技スポーツ学科で競技力を高めながら、スポーツトレーナー学科で各種トレーナーを目指します。



② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「競技 × スポーツトレーナー」の履修者は、全員に大幅な減免を適用。

競技スポーツ学科の1年分の授業料と施設設備費を合わせた98万円に加え、スポーツトレーナー学科入学金10万円を免除します。



③ プロチーム、有名ジムとのパートナーシップ。

アスレティックトレーナーコースでは、カリキュラム終了後に、プロスポーツチームのトレーナーとして働くインターン制度があり、さまざまなチームと包括契約を結んでいます。パーソナルトレーナーコースは「ゴールドジム」とのパートナーシップがあり、どちらも在学から実践的な知識と経験を積むことが可能です。



カリキュラムのしくみ

1年目は競技スポーツ学科（野球、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス）に入学し、理論と実技の両面からスポーツを学びます。2年目は競技スポーツの授業とスポーツトレーナー学科（アスレティックトレーナー、パーソナルトレーナー、フィットネスインストラクター）の授業を並行して履修する「二階建て」の時間割。そして3年目はスポーツトレーナー学科の学習一本で、資格取得を目指します。

VOICE
選手とスポーツトレーナー、両方のスキルを磨くことの強みとは。

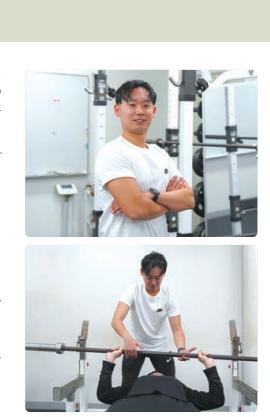
サッカー × アスレティックトレーナー

2022年卒業

智葉 そらのさん

FC今治レディース アスレティックトレーナー
(日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー)

2000年生まれ、愛媛県出身。広島文教大学附属高校を卒業後、本校へ。サッカーコース在籍時は女子選手の提拔先（※当時）、スペランツァ大阪でプレー。その後FC今治レディースでの選手活動を経て、22年12月に現役を引退した。現在は同チームの専属トレーナーを務めている



バスケットボール × パーソナルトレーナー

2022年卒業

中林 輝さん

パーソナルトレーナー

2000年生まれ、大阪府出身。大阪府立東住吉総合高校を卒業後、バスケットボールコースへ（旧競技 & AT）。卒業後、フィットネスジム勤務の傍らNSCA-CPT等のフィットネス資格を取得。24年4月、本校卒業生と「パーソナルジム NR-ACHIEVE」を立ち上げトレーナーとして活躍中

現役時代はパフォーマンス向上につながる身体作りが上手くいかず、波のあるコンディションとメンタルにも悩まされました。そんな経験から、選手一人ひとりの要望に沿った、オーダーメイドに近い身体作りの必要性を感じていました。今はパーソナルトレーナーとして、バスケット選手を含めたアスリートにもトレーニングを提供しています。トレーナーとしての自身の強みは、競技特性に沿った動作改善や姿勢矯正を行えること。例えば、走る時の最初の一歩目から三歩までの足のさばき方や、ジャンプする時の姿勢の作り方などを細かくアドバイスします。「ショート率が上がった」「カッティングの動きが鋭くなり、当たり負けしなくなった」等の声をいただき、大きなやりがいを感じています。選手の悩みに寄り添いながら、ケガをしない強い身体と競技力アップを叶える。そんなパーソナルトレーナーが増えることを期待しています。

DOUBLE LEARNING

医療 × アスレティックトレーナー

結果が求められるスポーツの世界では、激しいトレーニングや試合で身体を酷使した結果、スポーツ障害で苦しむ選手が少なくありません。彼らを治療する場合に必要なのが、施術行為が認められる医療国家免許です。

実際にスポーツ界では、多くの国内トップチームで、日本スポーツ協会公認のアスレティックトレーナーの資格に加え、医療国家免許を保有していることがトレーナーの採用条件になりつつあります。

このカリキュラムは、医療系学科在籍中にアスレティックトレーナー資格が取得できるよう構成されているため、トレーナーとして医療の両面からアスリートを支える即戦力として世に出ることが可能です。

医療系学科とアスレティックトレーナーコースを別々に卒業するが、通常は5～6年の年数が必要ですが、2年早く両方の資格を取得することができるようになります。

時間短縮の秘密は、効率的な時間割編成があります。生理学や解剖学など、医療系開設科目と共通する部分があるため、同時に学ぶことで時間も学費も大幅に負担が軽減されます。

学びのポイント | KEY POINTS

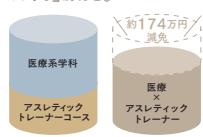
① 「2年早く」卒業できる。

医療系学科(3～4年制)とアスレティックトレーナーコース(2年制)の合計5～6年間のカリキュラムを、最短3年間で修了できます。また本校は、理学療法士の国家免許と日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を両方取得できる全国でも数少ない学校です(大学を含む)。



② もれなく適用される「学費174万円」減免。

「医療×アスレティックトレーナー」の履修者は、大幅な減免を適用。アスレティックトレーナーコース2年分の授業料、施設設備費、入学金、実習費、活動費などをあわせたうち、合計約174万円が減免されます。



③ 「医療国家免許とアスレティックトレーナー」、両資格を保有している教員が多数在籍。

本校には、医療国家免許と日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の両方を保有する教員が多数在籍しています。両分野を熟知している指導者の知識とノウハウを直接学びながら、資格のダブル取得を目指せる貴重な環境が整っています。



※掲載している教員は一部です。

カリキュラムのしくみ

医療系学科(理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科)のいずれかに入学し、国家免許取得のための勉強と並行して、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格の取得を目指します。

医療系学科在籍中にアスレティックトレーナー資格の勉強ができるので、3年～4年でのダブル資格取得が可能です。

VOICE

活躍したい領域に合わせ、選べる3つのプラン。
あなたはどのスペシャリストを目指す？

理学療法士 × アスレティックトレーナー = 早期復帰のスペシャリスト

ケガをさせないトレーナーになりたい。

ありやま ちか
有山千花さん
理学療法学科(兵庫県立芦屋高校出身)

高校時代にケガで、大好きなバスケを続けるのが難しくなりました。それでもバスケに戻りたい思いで、手術後に理学療法士さんに支えてもらいました。経験から、理学療法の知識を持ったATを志すようになりました。将来は動作分析の視点を活かして手にケガをさせないトレーナーになりたいです。

VOICE



SPECIAL POINT

選手がスポーツ障害によって手術を受けた場合に、術後の早い段階から競技復帰までのリハビリテーションを行います。選手が安心してリハビリに取り組み、速やかに競技復帰できるよう、責任をもって指導します。

柔道整復師 × アスレティックトレーナー = 現場対応のスペシャリスト

外傷処置ができるトレーナーになりたい。

ふじた じゅうこ
藤田将伍さん
柔道整復学科(奈良県立高田高校出身)

ラグビーをしていた高校時代、選手を近くで支えるトレーナーに憧れ、現場で外傷処置ができるトレーナーを目指すようになりました。骨や筋肉に関する柔道整復の知識は、ATの活動にも役立ちます。身体の仕組みをイメージして、トレーニング指導ができる点も強みだと感じています。

VOICE



SPECIAL POINT

試合や練習中に選手が負傷(骨折・脱臼・捻挫など)した場合に、早期の段階でケガの処置を行うことが可能です。悪化を防ぐことがケガの早期回復につながり、後遺症のリスクを軽減させ、貴重な選手生命を守ります。

鍼灸師 × アスレティックトレーナー = コンディショニングのスペシャリスト

オリンピック選手に帯同したい。

みずきゅう ひろすけ
溝渕雄亮さん
鍼灸学科(大阪府立四條畷高校・同志社大学出身)

水泳の選手時代、コンディショニングを整えるためにトレーナーさんと一緒に鍼灸師さんが不可欠な存在でした。自分も選手を支える仕事を就きたくて、両資格を3年で取得できる短大を選びました。双方の知識がリンクする授業も多くて面白いです。将来は開業し、オリンピック選手に帯同したいです。

VOICE



SPECIAL POINT

筋肉の緊張を緩め、疲労を取り除くことでケガを予防します。また、痛みのコントロールだけでなく、精神的ストレスを軽くする、内科疾患などによる症状を和らげるなど、幅広く選手をケアすることができる。選手をベストコンディションに導きます。

医療 × パーソナルトレーナー

医療とトレーニングの関係は近年、ますます密接になっていました。実際に、トレーニングスベースを併設した整形外科や鍼灸接骨院の数が増え、医療国家免許を持つトレーナーが常駐するトレーニングジムも台頭しています。

本カリキュラムは、フィットネスと医療柔道整復または鍼灸の強みを掛け合わせて、お客様の健康をより強固に支える稀少な人材を育成します。

入学1年目と、2年目の前半中はパーソナルトレーナーコースで「フィットネスの理論と実技を履修。唯一無二のレッスンを提供できるトレーナーを目指します。本校独自の学内外実習で豊富な経験を積み、トレーナーに必要な人間力と現場実践力を高めます。

2年目の午後と3年目以降は医療系学科、柔道整復学科または鍼灸学科に在籍します。柔道整復学科ではリハビリや機能訓練指導士の実習で理学療法士を目指します。鍼灸学科はスリードーム対象にした治療実習ほかに、鍼灸にも力を入れており、女性特有の悩みに有効な対処法を学びます。

運動療法と医療を融合した、包括的な美容健康の提供を目指します。

学びのポイント | KEY POINTS

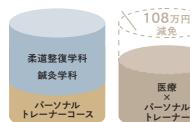
① 「1年早く」卒業できる。

パーソナルトレーナーコース（2年制）と医療系学科（柔道整復学科または鍼灸学科、いずれも3年制）の合計5年間のカリキュラムを、あわせて4年間で修了できます。フィットネス関連の知識、実技を習得しながら医療国家免許の取得を目指せます。



② もれなく適用される「学費108万円」減免。

「医療 × パーソナルトレーナー」の履修者は、全員に大幅な減免を適用。パーソナルトレーナーコースの1年分の授業料と施設設備費をあわせた98万円にプラスして、医療系学科入学金のうち10万円を免除します。



③ 現場実践力を高める豊富な実習。

柔道整復学科では治療院や介護福祉関連施設での実習を通して、治療や介護の現場で求められる知識と実技を習得します。鍼灸学科はスポーツ現場での実習のほか、3・4年目に「トータル美容ゼミ」が履修可能（希望選択制）。美容に特化した鍼灸が学べます。これらにパーソナルトレーナーコースでの豊富な現場実習が加わることで、お客様のニーズに合う多彩な運動療法の提供を目指します。



カリキュラムのしくみ

1年目は、パーソナルトレーナーコースで、理論と実技の両面からフィットネスについて学びます。2年目は、前半中はパーソナルトレーナーコースで授業を受け、午後は医療系学科（柔道整復学科・鍼灸学科のいずれか）の授業を受ける二階建ての時間割。

そして3年目以降は医療国家免許取得に向けて勉学に専念します。

VOICE

パーソナルトレーナー × 柔道整復師・鍼灸師には、どんなポテンシャルがありますか？



とくなが かづや
徳永加津也さん
柔道整復師

「とくながパーソナルトレーニング整骨院」代表。日本柔道整復学科を卒業後、土居整形外科勤務を経て2025年に独立。トレーナーとして、アスリートのケアやパフォーマンスアップも行う



すぎやま まさと
杉山匡人さん
PHIピラティススマートトレーナー
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
はり師・きゅう師

PHIピラティスジャパン本部のスマートトレーナーとして学校で指導するほか、ピラティス目録とされる一般の方からアスリートまで、様々なクライアントへのパーソナルレッスンを担当する



もとやま こよこ
本山小容子さん
PHIピラティスインストラクター
ヨガインストラクター
はり師・きゅう師

本校の旧エヌススポーツ科トレーナーコースを卒業後、フィットネスクラブ勤務を経てフリーランスのピラティスインストラクター、ヨガインストラクターに。その後、鍼灸学科へ再入学し2020年卒業

整形外科で働く柔道整復師として10年間、経験を積んできました。障害を負った方の機能回復をサポートする中で感じたのは、運動療法の大切さと継続の難しさです。

患者様には通院終了後も運動療法を続けて欲しいのですが、自宅では行いづらいのが現実。筋力の強化や関節を鍛えず訓練といった身体機能の維持・向上を、パーソナルトレーニングで補えればと、独立開業の際、院内にトレーニングマシンを導入しました。

トレーニングを行う際は、リスク管理が必要になります。医療の根拠に基づいたプログラムを専門できる稀少なトレーナーを、ぜひ目指してください。

ある研究論文によると、パーソナルトレーニングを利用する理由に、「身体を鍛える」ことよりも「不調をどうにかしたい」という要望の方が多かったというデータがあります。実際に、私が所属するスタジオにも何からしらの不調や痛みを抱えた状態で来られるお客様は少なくありません。

鍼灸はまさしく、それらの不調をゼロベースにすることができます。ただし、整形外科的な痛みの原因は普段の生活の中での動きにありますので、まずはここをクリアにしないと元に戻ってしまう。痛みを取った後はお客様に不調の原因を取り除いてもらうため、フィットネスが得意とする運動療法が活きてきます。

私の場合は単純な筋力強化やストレッチではなく、ピラティスで正しい姿勢や身体の使い方や動かし方を学んでもらい、痛みを抱えている場所に負荷がかからない動きを覚えてもらった上で身体づくりを行います。

また、医療免許があれば「今日は運動がつらい」といいう日でもご来店いただき、身体の状態を診てから治療することもできます。

お客様がどんな体制でもため細かなサポートができ、運動を続けられるお手伝いをする。そんな柔軟な対応力を備えたトレーナーになれるはずです。

思います。また、私のお客様は鍼灸よりもお灸が好きの方が多く、「身体を温め、痛みを緩和してからの方が動きやすいく」とのお声をよくいただきます。鍼灸でしっかりと動く準備ができると、レッスンの限られた時間で有効的に使えます。さらにお灸での施術はお客様にセラフケアの提案もしやすく、「疲れが取れた」「よく眠れた」と、身体を休めることにもお役立ていただいている。

また鍼灸師の資格は、結婚や出産といったライフイベントにも対応するキャリアを築けることも魅力。将来の働き方に幅ができるのも、大きなメリットだと思います。

英語 × アスレティックトレーナー



カリキュラムのしくみ

- 1年目は外国語学科に入学し、英語でのコミュニケーションを基礎から磨きます。
2年目は、午前中は外国語学科の授業を、午後はアスレティックトレーナーコースの授業を受ける“二階建て”的時間割。
そして3年目はアスレティックトレーナーコースの在籍となり、日本スポーツ協会公認AT資格試験の合格を目指します。

近年、外国人指導者、スタッフ、選手が来日し、日本のチームやクラブで働く機会が飛躍的に増えています。にもかかわらず、我が国には英語が話せるスポーツ人材がまだ不足しているのが現状。つまり、大きな需要が目の前にあるということです。

アスレティックトレーナー資格と、現場で本当に使える英語力を掛け合わせることで、あなたの活躍するフィールドと就職先の幅は、何倍にも広がります。

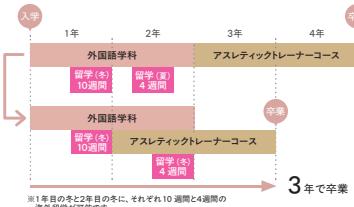
このカリキュラムは、英語の習得を目指しつつ卒業後には日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を得られるよう構成されています。本校は、在学中にTOEIC 970点を取得し、ラグビーのチームに通訳兼トレーナーとして就職した卒業生を、開設初年度から輩出しました。

英語の授業は、卒業後のキャリアに直結するよう、常に「本物の現場」につながっています。本校では、語学学部でトランクルームでトレーナーなどとしてインターン。そして在学中からプロチームの現場を体験することで、圧倒的な経験を積むことができます。

学びのポイント | KEY POINTS

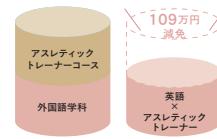
① 「1年早く」卒業できる。

外国语学科(2年制)とアスレティックトレーナーコース(2年制)の合計4年間のカリキュラムを、3年間で修了。時間も学費も、大幅に効率化できます。現場で使える英語力と、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格はどちらも「一生もの」の武器。その2つを3年の短期集中で身につけることは、未来への最高の投資と言えるかもしれません。



② もれなく適用される大幅な減免。

「英語 × アスレティックトレーナー」の履修者は、全員に大幅な減免を適用。外国语学科1年分の授業料、施設設備費、アスレティックトレーナーコースの入学金を合わせた109万円を減免します。



③ プロチームとの包括的なパートナーシップ。

外国语学科とアスレティックトレーナーコースでは、プロスポーツチームと提携しています。プロスポーツ現場でのように英語でのコミュニケーションが行われているかを知り、実習を通して実践的な英語力を磨きます。修了後には、プロチームでインターンとして働く制度もあります。



エディー・ジョーンズ

(ラグビー代表監督)

1960年、オーストラリア生まれ。これまでに監督としてW杯準優勝2度、スタッフとして優勝を1度経験している世界的な名将。日本代表監督として、2015年W杯で南アフリカ代表を破る大金星を挙げた。2024年、再び日本代表監督に就任

佐藤秀典

(外国语学科G.M. ラグビー日本代表通訳)

1981年、東京都生まれ。10歳で渡英し、現地の高校を卒業後、帰国して通訳の道に。これまでラグビー・リーグワールドの複数のチームで通訳を担当してきた。2015、2019年W杯に統計2回行くことができた。海外留学では、語学学部でトレーナーなどとしてインターン。そして在学中からプロチームの現場を体験することで、圧倒的な経験を積むことができます。

現在、アスローライツチームや日本代表チームが求めているのは、「英語が話せる人材」だ。それはアスレティックトレーナーも例外ではない。ラグビー日本代表のエディー・ジョーンズ監督と、外国语学科G.M.や日本代表の通訳も担当する佐藤秀典先生が、日本のスポーツ専門人材にとっての英語習得の重要性、そして英語がチームにもたらす価値について、本音を語りあつた。これは代表チームであろうが、国内のチームであろうが同じです。

佐藤 監督が見て、「この人はチームに欲しい」というスタッフは、どんな人材ですか？ エディー チームに対して本気で積極的に関わろうとする人ですね。自分の存在価値を高めるために、スポーツの仕組みを背景から学び、世界の他の人たちとのように、そのスポーツに取り組んでいるかを学びたいと思う好奇心にあふれる人たちです。グローバル化進む現在、それが好奇心ですか？

トトレーナーであれば。

佐藤 そのようなスタッフがいると、チームにどのような影響がありますか？ エディー チームの勝利に貢献するには、世界のどこで何が起きているかを知らなければいけません。そのためにも違う言語を、スポーツ界なら多くの場合、英語を学び、英語でコミュニケーションすることを受け入れなければなりません。だから好奇心が必要です。今多くの日本人スタッフを見て残念なのは、彼らは現状で満足し、「本当にチームの勝利に貢献したい」という意欲が薄く、語学で困られることが重要です。

エディー そうですね。フィールド上ではとにかく、語学で困られることが重要です。大切なのは、素早く考える力、思考の早さ、の、そして自分の成長にとって、大きなチャンスなのです。

*68ページにも、エディー・ジョーンズ監督のインタビューが掲載されています。ぜひご覧ください。

英語×スポーツ

昨今、アスリートをはじめ、指導者、審判、チームマネージャーなど競技スポーツに関するスタッフが海外で活躍する機会が多くなっています。またトレーナー、インストラクターが英語での運動指導を求める場面も増えてきました。しかし、自らのスキルを国際舞台で活かすためには、言語のスキルを乗り越えなければいけません。本カリキュラムは、アスリートとして、あるいは指導者、審判、パーソナルトレーナー等として、国内だけでなく海外でも活躍できるスポーツ人材を育成するための設置されました。英語を習得し、将来的に海外でのトレーニングを実現したい方には、ビックリの履修内容を用意しています。

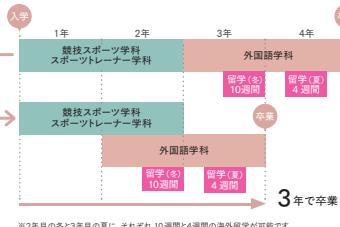
選手、トレーナーとしてのスキルや専門資格を取得した後は、他との差をつける英語でのコミュニケーションスキルの完成を目指します。

競技スポーツ学科(2年制)もしくは、スポーツトレーナー学科(パーソナルトレーナーコースまたはフィットネスインストラクターコース、いずれも2年制)と外国語学科(2年制)の合計4年間のカリキュラムを3年間で修了できます。

学びのポイント | KEY POINTS

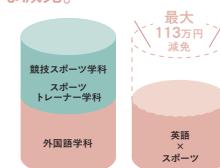
① 「1年早く」卒業できる。

競技スポーツ学科(2年制)もしくは、スポーツトレーナー学科(パーソナルトレーナーコースまたはフィットネスインストラクターコース、いずれも2年制)と外国語学科(2年制)の合計4年間のカリキュラムを3年間で修了できます。



② もれなく適用される大幅な減免。

「英語×スポーツ」の履修者には、全員に大幅な減免を適用。競技スポーツ学科またはスポーツトレーナー学科1年分の授業料、施設設備費、外国語学科の入学金を合わせた最大113万円を減免します。



③ 他では得られないオリジナルの留学経験。

本カリキュラムでは2年目の冬と3年目の夏、あわせて14週間の海外留学が可能です。語学校で英語力を伸ばすだけでなく、本校スタッフの人脈を活かし、現地でスポーツ関連プログラムに参加することもできる点が特長です。オリジナルの留学経験を通して海外のスポーツ文化を身をもつて知ることは、自身の進路に大きな影響を与えるはずです。



カリキュラムのしくみ

1年目は競技スポーツ学科、スポーツトレーナー学科(パーソナルトレーナーコースまたはフィットネスインストラクターコース)に入学し、専門スキルを磨きます。2年目は、午前中は上記学科コースの授業を受け、午後は外国語学科の授業を受けます。そして3年目は外国語学科のみの在籍となり、英語での対話能力の完成を目指します。また、計2回の海外留学も可能です。

VOICE

英語が話せるから拡がる、キャリアのアドバンテージ。

なかや けんた
中矢健太さん

スポーツライター、ラグビーコーチ

在阪テレビ局に勤めた後、2024年に本校国際語学科に入学。スポーツライターとして雑誌「Number」や、複数のラグビー専門媒體で活動中。母校・上智大学ラグビー部でコーチも務めている

外国语学科1年次の冬に留学し、オーストラリア・ボンド大学の女子ラグビーチームでアシスタントコーチ(インターン)を経験しました。外国语学科で身についた英語をアウトプットする実践的な場であり、オーストラリアのラグビー文化をダイレクトに体感する貴重な機会になりました。

ボンド大学ラグビー部は男女ともに強豪校で、練習場やトレーニング施設はプロチーム並み。素晴らしい環境でした。指導陣も優秀なスタッフが揃っていましたが、コーチングやトレーニングに関しては「日本は決して引けを取らない」と感じました。現地が劣っているというわけ

ではなく、日本人スタッフならではのきめの細かさといった強みがあるのです。コーチとしての実力に加え、相応の語学力があれば、活躍できるチャンスはきっとあると思います。

また国内プロスポーツチームにおける、外国人監督が占める割合はだんだんと高くなっています。ラグビーのブローディーでは2025年11月時点で75%。バスケットボールで62%、バレーボールは60%と年々進んでおり、グローバル化は待ったなしです。

英語が話せば、自分の力を最大限チームに貢献できる。学生時代に貯める英語は、将来の幅を広げる先行投資と言えるでしょう。

なかむら ふみか
中村風香さん

国際公式記録員

2015年野球コース卒業。本校で公式記録員の養成指導を行なう傍ら、WBSC(世界野球ソフトボール連盟)が取り仕切りる試合の国際公式記録員としても活躍中。野球とソフトボールの国際大会に数々関わる

私は野球の国際公式記録員です。プレミア12やワールドカップ等の国際大会に参加した際、大会運営からの連絡、配布書類、スタッフ間のコミュニケーションはすべて英語が基本です。

海外での大会では1試合につき、主に3人の記録員がいます。メンバー間で「今のはピット、エラー、どっちだと思う?」と協議することは結構多いです。自分の意見を、根拠を持つて発言する必要があります。

今は翻訳アプリなど便利なツールがありますが、やはりコミュニケーションの基本は「自分の言葉で伝えること」。学生のうちにアウトプットできる場があれば、恐れずスタートラインに立つことができます。

たがし けいすけ
田頭 墾さん

パーソナルトレーナー

2018年にロライフ・フィットネストレーナーコースを卒業後、約1年間カナダとLAに留学。海外のフィットネス文化を真に学ぶ。帰国後、東京都内にある有名スタジオでパーソナルトレーナーの経験を積む

海外のフィットネス文化を体感するため、履正社卒業後にカナダとLAに留学していました。前職を退職した後も、ニューヨークにショートステイ。ビラティス発祥の地と言われるスタジオで、レッスンに参加しました。この体験を通してビラティスの本質に触れ、帰国後、クラフトフットに自信を持って説明できるようになりました。

また、気になるトレーニングスタジオをいくつか訪問し、「この内装、雰囲気なら、こういう客層が集まる」といった実例を集めました。自分が今後、どんなスタジオをやりたいのか、イメージを形成するためです。

アポイントなしでスタジオ見学を申し込んだ際、英語が話せるかどうかで明暗がわかれました。レセプション(受付)で挨拶し、ポンポンと会話を返せると、スタッフはフレンドリーに対応してくれます。ですが、ここで上手く話せないと「何をしにきたのか」と、門前払いされることも。自分でやりたいことをしっかりと話せた方が、交渉の余地がぐっと広がります。

若いうちに学ぶ英語は成長スピードが全然違います。また留学を決めたら、留学費を稼ぐためのアルバイトなどで忙しくなり、英語の勉強が不十分になるのが現実です。英語とトレーナーの学びを学生のうちに両立しておくことは、最善のルートだと思います。

103

102

DOUBLE LEARNING

英語×医療



カリキュラムのしくみ

1年目は外国語学科に入学し、英語でのコミュニケーション力を基礎から磨きます。1年目は10週間、2年目は4週間の海外留学が可能です。2年目は、午前中は外国語学科の授業を受け、午後は医療系学科（理学療法学科、柔道整復学科、鍼灸学科のいずれか）の授業を受ける「二階建式」の時間割。英語力のベースが出来上がった3年目以降は医療国家免許取得に向けて勉学に専念します。

医療の世界にも「メイド・イン・ジャパン」のブランドがあります。日本人の理学療法士・柔道整復師・鍼灸師の丁寧で細かな仕事は、世界のどこに行っても通用するタオルティが増えていくこともあり、各医療機関では英語が話せる医療スタッフのニーズが急速に高まっています。このカリキュラムは、外国語学科で英語の習得を目指し、卒業後には理学療法士・柔道整復師・鍼灸師で、同時に英語の授業を受けられるため、移動時間のロスもありません。外語学科の授業では、一般的な英会話話の他に医療現場を想定した英会話記事のリーディング、医療用語を使った医療人のライティングなど、これら時代の医療人に対する求められる英語力もしっかりと身につけます。

医療国家免許や英語の語学力は、どちらも身につけてしまえば、生もの武器。その両方を

一緒に習得できる貴重なチャンスが、ここにあります。

近年、日本の医療技術を求める外国人の患者

が増えていくこともあり、各医療機関では英語

が話せる医療スタッフのニーズが急速に高まっ

ています。このカリキュラムは、英語の授業を受けられるため、移動時間のロスもありません。

外語学科では、一般的な英会話話の他に医療現場を想定した英会話記事のリーディング、医療用語を使った医療人のライ

ティングなど、これら時代の医療人に対する求め

られる英語力もしっかりと身につけます。

医療国家免許や英語の語学力は、どちらも身

につけてしまえば、生もの武器。その両方を

一緒に習得できる貴重なチャンスが、ここにあ

ります。

社会人になると思うように時間が取れないのが現実。すぐに外国に行くことがなくても、英語を通じて海外との接点を持ち、興味を広げ、可能性の種をまいておく。これが医療者として唯一無二のキャリアを歩む布石となるでしょう。

学びのポイント | KEY POINTS

① 「1年早く」卒業できる。

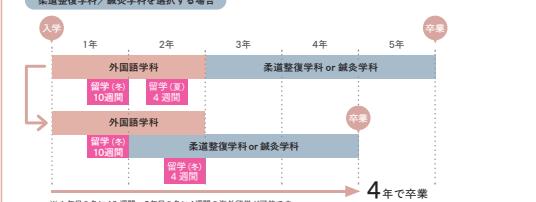
医療系学科（3~4年制）と外国語学科（2年制）を別々で卒業した場合と比べ、1年早く卒業することができます。

また、医療国家免許と専門的な英語スキルの両方を取得することのできるカリキュラムを有する学校は、国内に類ありません。

理学療法学科を選択する場合

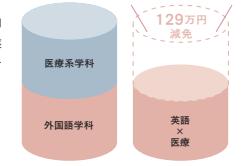


柔道整復学科／鍼灸学科を選択する場合



② もれなく適用される大幅な減免。

「英語×医療」の履修者は、全員に大幅な納付金の減免を適用。外国語学科1年分の授業料、施設設備費、医療系学科の入学金をあわせた129万円を減免します。



VOICE

「英語ができる医療人になる」。
こころざしの先にある将来像とは。

理学療法士 在カンボジア病院勤務

うえのともや
上野友也さん

1984年生まれ。鳥取県出身。畿央大学理学療法学科卒業後、地域医療に携わる。2012年に青年海外協力隊としてアフリカ・マラウイ共和国へ赴任し、理学療法士として活動。2015年、北原国際病院へ入職。翌年、同院がカンボジアに開院した『サンライズジャパン病院』に出向

グローバル化が進む社会の中で、英語が話せることはアドバンテージであり、いずれスタンダードになっていくと思います。医療の世界も例外ではありません。経営面で考えても、人口減少の一途をたどる日本において、医療施設もより多くの患者様や外国人労働者の受け入れ体制を整えていかなければなりません。駐在者やメディカルツーリズムなど、外国の方に安心して利用いただくため、英語が使える医療者はますます必要とされるでしょう。また、国外から技能実習生を迎える施設も増え、外国人の同僚がいることでも珍しくはなくなる。こういった潮流から今後、病院によってはTOEICの点数を基準に給与にインセンティブがつくなど、採用や人事にも影響してくれると思われます。

私は日本の病院で4年勤めた後、青年海外協力隊に参加し理学療法士としてアフリカのマラウイ共和国でリハビリテーションに携わっていました。今はカンボジアの病院で勤務し、現地スタッフの管理業務と資材等の調達部門のマネジメントが主な仕事です。海外に出て行くと様々な人に出会うことができ、多くのスキルや経験、価値観を得ることができます。絶えず刺激があり、現地医療の発展に貢献できるだけでなく、自分のキャリア形成にも繋がることが醍醐味です。

社会人になると思うように時間が取れないのが現実。すぐに外国に行くことがなくても、英語を通じて海外との接点を持ち、興味を広げ、可能性の種をまいておく。これが医療者として唯一無二のキャリアを歩む布石となるでしょう。

はり師・さゆう師 2016年鍼灸学科卒業生

すずきあつし
鈴木淳志さん

1993年、大阪府生まれ。桜塚高校から本校に進み、野球コース、鍼灸学科を卒業。埼玉大東洋医学科鍼灸臨床修了後、診療所に勤務。2017年より東アフリカ・セーシェル共和国のクリニックで院長として勤務し、2020年には現地で治療院を開業した

VOICE

医療に限らずどんな仕事でもそうですが、英語ができる人とそうでない人では、将来のキャリアの幅に圧倒的な差があると思います。というのも、英語が話せることで、働ける国、世界は広がり、日本から出る機会を手に入れることができるからです。そして行く先々の現地の文化や、人とのつながりが、チャンスを大きく広げてくれます。

私は今、東アフリカのセーシェル共和国で治療院を営んでいます。患者様の出身地域は本当に様々です。6割は現地の人ですが、残りの4割はアメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、中東……世界中の老若男女が治療を求めてやってきます。英語が話せることで、皆さまへ日本の鍼灸技術を提供させていただくことができます。

日本の鍼灸のスキルは高いと思いますし、海外における鍼灸治療の認知度は高いので、日本の鍼灸師は英語を学んでどんどん海外に出ていくべきです。日本人の真面目な気質が海外では重宝されて、信頼につながるはずです。

私は在学中、海外で働くことに憧れ、自分で外部の英会話学校に通って一人で英語を学んだので、お金も、移動のための時間もかかりました。当時、もし「英語×医療」の学びがあれば履修していたと思います。同じ学校の中で英語が学べて、しかも同じような目標を持った仲間がいる。お互いに切磋琢磨できるチャンスがあることは素晴らしいと思います。そのチャンスを活かすことができるかどうかは、全てあなた次第です。

105

104